

みんなが築こう

人権の世紀

「考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心」

人権とは、人間が幸せに生きていく権利で、すべての人が生まれながらに持っている基本的な権利です。(彦根市人権尊重都市宣言から)

部落差別、男女差別、外国人差別、障害者差別など、あらゆる差別や偏見をなくし、みんなが明るく暮らせる社会をつくりましょう。そのためには、私たち一人ひとりが、人権について正しく理解し、周りの人の人権を尊重する意識を持つことがとても大切です。「人権週間」を機会に、家庭で、職

場で、学校で、地域で、家族と、友達と、みんなと、身近なことから人権について考えてみてください。今年の人権週間の強調事項は次のとおりです。

- ▽女性の人権を守ろう
- ▽子どもの人権を守ろう
- ▽高齢者を大切にすることを育てよう
- ▽障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
- ▽部落差別をなくそう

- ▽アイヌの人々に対する理解を深めよう
- ▽外国人の人権を尊重しよう
- ▽HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう
- ▽刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- ▽犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- ▽インターネットを悪用した人権侵害は止めよう
- ▽ホームレスに対する偏見をなくそう
- ▽性的指向を理由とする差別をなくそう
- ▽性同一性障害を理由とする差別をなくそう
- ▽北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ▽人身取引をなくそう

▽北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
▽人身取引をなくそう
▽アイヌの人々に対する理解を深めよう
▽外国人の人権を尊重しよう
▽HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう
▽刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
▽犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
▽インターネットを悪用した人権侵害は止めよう
▽ホームレスに対する偏見をなくそう
▽性的指向を理由とする差別をなくそう
▽性同一性障害を理由とする差別をなくそう

人権に関わる相談は 人権擁護委員へ

人権に関する問題で、相談する相手がなくて困ったという経験はありませんか。

そんなときには、人権擁護委員が相談に応じます。いじめや体罰、児童虐待などの子どもの人権問題や、配偶者・パートナーからの暴力などの女性の人権問題、部落差別をはじめあらゆる差別の問題、家庭内、職場内、隣近所での問題などについて相談を受け付けています。

市内の人権擁護委員は、次の皆さんです。

氏名	住所	電話番号
若杉 一夫 (わかすぎ かずお)	平田町845-1	23-3645
松田 貞夫 (まつだ さだお)	大藪町2014	23-4427
堤 博子 (つつみ ひろこ)	船町5-20	23-7232
廣野 政三 (ひろの まさみつ)	芹橋二丁目9-9	23-0285
河分 武士 (かわわけ たけし)	堀町311-1	28-1808
馬場 世紀 (ばば せいき)	高宮町1888	22-1963
深井 恵純 (ふかい えじゅん)	田附町838	43-3657
小山 壽子 (こやま じゅんこ)	鳥居本町1332-20	22-5072
桂 晃照 (かつら こうしょう)	西今町609	22-4023
寺崎 政子 (てらさき まさこ)	野田山町580-41	23-1981
平塚 文子 (ひらつか ふみこ)	日夏町2058	28-1475
善利 孝子 (せり たかこ)	芹町12-21	22-3863

(12月1日現在、敬称略)

人権尊重と部落解放をめざす 県民のつどい

無参加

日時 12月5日(日) 9:40~14:30

場所 県立文化産業交流会館(米原市)

オープニング 心をつなぐ

メッセージミニコンサート

(県立盲学校 音楽クラブ)

意見発表 「T君が教えてくれたこと」

石田和沙さん

(立命館守山中学校2年生)

地域からの発信

朝鮮文化を考える会「チング」

子どもの教育を考える会

「人権啓発創作劇」

記念講演 命を輝かせるために

向井亜紀さん(タレント)

ともに生きる あただがいまち 彦根を目指して

12月3日～9日は障害者週間です

両障害福祉課 ☎27-9981番、FAX 26-1767番

障害者週間は、障害のある人や障害福祉社についての関心や理解をいっそう深めるための週間です。障害に対する周囲の理解不足や無関心などのため、障害のある人が不利益を受けたり、じゅうぶんな支援を受けられなかったりすることがあります。だれもが快適に生活できる社会を実現するために、障害のある人について、この機会に考えてみましょう。今回は、内部障害を紹介いたします。

見えないハンディキャップ ～内部障害～

内部障害は、進行性の病気を伴っている場合があり、多くの人が体力低下や体調面での不安を抱え、また、通院や食事療法などで、人にはわからない苦勞があります。左の表は、内部障害の種類を示しています。

このマーク、わかりますか？



▲図1

図1は、車いす使用者用のトイレや駐車場など、障害のある人が利用できる建物や公共輸送機関であることを表します。



▲図2

図2は、「ハート・プラス」と言い、身体内部に障害や疾患のあることを周囲に知らせるマークです。電車などでこのマークをつけている人を見かけたら、席を譲るなどの配慮が必要なおことがあります。



▲図3

図3は、オストメイト対応トイレであることを表します。オストメイトとは、人工ぼうこうや人工肛門のある人のことです。通常のトイレでは排泄処理が困難なため、外出に不安を感じる人もいます。

活躍しました スペシャルオリンピックスバスケット グループ3で優勝

11月5日(金)～7日(日)まで、大阪府内で開催された「スペシャルオリンピックスバスケット」に、市内の3選手が出場して好成績を収め、全国の仲間たちと交流を深めました。

バスケットの西川和輝選手たちは、グループ3で見事、優勝しました。卓球の田宮寛選手は、グループ3で5位に入賞しました。

選手たちは、働き、学びながら、1回、約50人の選手やボランティアと練習に励んでいます。

※スペシャルオリンピックスは、いろいろなスポーツトレーニングや競技の場を知的発達障害のある人たちに提供する国際的なスポーツ組織で、4年に



▲健闘を誓う田宮選手(左端)と西川選手(右端)

1回、国内大会と世界大会が開催されます。

内部障害

【心臓機能障害】 動悸や息切れが起こることがある。体力が低下して疲れやすく、風邪も引きやすい。

【じん臓機能障害】 体力低下や体調の変動を伴うことが多く、風邪などに感染しやすい。定期的な人工透析のために通院する人もいる。

【呼吸器機能障害】 慢性的な呼吸困難、息切れなどがある。

【ぼうこう、または直腸機能障害】 排せつ機能の障害。人工肛門、人工ぼうこうがある人がいる。

【小腸機能障害】 消化吸収が困難で、食事制限があるか、もしくは食べることができない。

【ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫機能障害】 免疫機能が低下し、健康な人ではかかりにくい病気にもかかりやすい。

【肝臓機能障害】 肝炎ウイルスなどの病気で肝臓機能が低下し、強い疲労感を感じやすい。